



— 巻 頭 言 —

一人の百歩より百人の一步

川崎医科大学附属病院 爲 近 美 栄

東北三大祭りの最後を飾る『七夕まつり』を1週間後に控えた平成17年7月の末、高橋堅治大会長の指揮のもと、仙台市において第25回核医学技術学会総会が開催され、多数の参加者、演題発表を得て盛会裡に幕を閉じました。私は平成15・16年度の2年間、監事として学会の運営を見守って参りました。この25回総会にて監事の務めを終えるにあたり、もっともっと多くの会員に利用していただきたい本学会のお得な諸制度について紹介させていただきます。

トクトク情報のその1は研究助成金制度です。平成14年に制定された制度で、『学術の進歩や発展に寄与する研究』に対して1年に1件10万円の研究助成金が交付されます。会員歴3年以上の会員なら誰でも申請できます。ノルマは交付翌年の総会に発表、若しくは学会誌に報告することです。

トクトク情報その2は国際交流・研修派遣制度です。海外で開催される関連学会への参加交流または海外の核医学関連施設の視察・研修等を行う『学術活動奨励部門』と、海外で学術研究発表を行う『海外研究発表奨励部門』があります。特に平成17年度は、例年60万円の予算額が100万円に増額されています。2006年10月に世界核医学学会が韓国ソウルにて開催されますが、1人でも多くの会員に発表していただきたいという方針から17年度限定で計上されました。沢山の会員にこのチャンスを有効活用していただき、国際的視野を広めるとともに資質の向上に役立てていただきたいと思います。

トクトク情報その3は準会員制度です。ローテーション従事者や学生に門戸を広げ、日頃の研究成果を発表できる場を提供して、核医学への関心を高めることを目的として準会員制度が導入されました。学会誌の配布ならびに学会運営に係わるその他の権利は与えられないものの、経済的な会費で入会できる制度です。会員の皆様の周りにいらっしゃる非会員の核医学技術者や学生さんにお勧めいただき、学術活動の一助にさせていただきたいと思います。

トクトク情報その4は掲載論文のカラー化です。国内外を問わず、多くの雑誌で投稿論文のカラー印刷代は有料であり著者負担が一般的です。本学会では核医学検査という検査の特性から、図のカラー化を望む声が高まってきています。そこで、平成17年度は30万円を上乗せした学会誌印刷予算を計上し、限られた号にはなるものの学会予算でのカラー化計画を進めています。これも本学会会員ならではの大きな特典と言えるでしょう。さらに、投稿された学術論文を対象に研究努力賞、優秀論文賞が選考され表彰される制度もあります。会員の皆様には奮って論文投稿していただきますようお願いいたします。

これらの制度の詳細につきましては、年5回発行される学会誌に会告として随時掲載され、学会のホームページにもアップされております。会員の皆様には、学会誌やホームページを隅からすみまでしっかりとご覧いただき、トクトク情報をお見逃しなく徹底活用していただきたいと思います。

本学会のホームページには管理運営を担当しております電子情報管理委員会や事務局のメールアドレスが表示されています。紹介させていただきました諸制度のご利用に関すること、学会の運営や学会誌に関するご意見・ご感想、ホームページに関するご意見、その他のお問い合わせなど、会員の皆様の色々な声をお気軽にお寄せいただき、学会の運営にもご参加下さいますようお願いいたします。

「一人の百歩より百人の一步」とは日本電産創業者の永守重信社長の言葉です。核医学技術学会の運営も、学会長、理事、事務局、委員会の役員さんだけに任せず、900人の会員全員の一歩で盛り上げていこうではありませんか。